

## Q 食品ロス削減に向けた取り組みについて問う

### A 食育の推進に取り組んでいる

中矢 寿子

**Q** 教育施設における学校給食や食育・環境などを通し、食品ロス削減への啓発を進めるべきではないか。

**A** 学校給食は、多彩な献立や様々な工夫を凝らして提供している。学校ファームで、児童生徒自らが手掛けた野菜を使ったカレーを提供するなど生きた食育に努めている。今年度調査した市内小中学校の残食率は、全国平均を大きく下回る結果が出ていることから残食量削減につながっているものと考えている。更なる充実を図り食品ロス削減に努めていきたい。

**Q** 災害備蓄食品の有効活用について聞きたい。フードバンク等への寄付を検討してはどうか。

**A** 総合防災訓練や、自主防災組織等の防災訓練において、参加者や来場者への防災意識普及啓発品として配布し、保存期限内に全て有効活用している。市内にフードバンクもないため、寄附は考えていない。

#### ― 防火シャッターについて問う ―

**Q** 平成17年建築基準法改正により設置が義務付けされた閉鎖作動時の危害防止機構の学校施設における設置状況を聞きたい。

**A** 大規模改修に合わせ27力所の改修を行ってきたが45力所は未設置である。

**Q** シャッター自体が設置されていない11校を含めた、今後の具体的な設置計画を聞きたい。

**A** 改修時期は未定だが、子どもたちの安心・安全のため、計画を立てて改修していきたい。



## Q 昨今の豪雨災害の事例をみると、防災計画を強化すべき

### A 必要に応じて見直しを実施する

高田 博之

**Q** 平成25年2月に策定された地域防災計画は、近年の災害事例を受けて、見直しする必要はないのか。

**A** 必要に応じて見直しを実施する。ともに、市民にはハザードマップを活用し防災対策の啓発に努める。防災対策を強化するため今年3月に防災会議を開催し、深谷市地域防災計画の一部を修正した。

#### ― 深谷断層について ―

**A** 市域にかかる活断層は、深谷断層と榎断層が存在している。深谷断層は市の中央部を西から南東方向へ延びている。長期評価での予想した規模はマグニチュード8であり、今後30年以内に地震が発生する確率は0.008%以下となっている。想定する避難者は5万人としていたが、その後の調査では1万人と減っている。県が調査したデータに基づいて、防災計画の修正を進めていく。

**A** 避難所の標識の整備はどうか。  
スムーズな避難のために今後整備をしよう。



#### ― 内ヶ島交差点に予備信号機の設置を強く要請する ―

**Q** 事故が何回も起こる場所があるが、どうしてか。

**A** 運転者の不注意が多く、道路環境に起因するものは少ない。

**Q** 県道伊勢崎深谷線の内ヶ島交差点は、信号の手前でカーブしているので予備信号機を設置したらどうか。

**A** 公安委員会の判断になる。現在の信号機をLED化し、見やすくする予定であると聞いている。

## Q 深谷市の公用車の使われ方について

### A 一元管理ではなく各部署で使用し維持管理も行っている

武井 伸一

**Q** 年間の維持費はどのくらいか。

**A** 公用車237台に要した費用の内訳は、平成27年度決算において、燃料費が約1360万円、車検を含む修繕料が約820万円、保険料が790万円、公課費(重量税)が150万円、合計で約3120万円となっている。

#### ― 渋沢栄一翁の資料展示室の拡大を ―

**Q** 記念館内にある資料展示室が狭いが、もう少し広く使う方法は。

**A** これまでも渋沢栄一資料室をはじめ館内の様々な改善に努めてきたが、今後も八基公民館と連携を図り、渋沢栄一翁に関連する展示や来館者へ快適なスペースを創出できるように工夫を検討していく。

#### ― 台風10号の被害を見て聞きたい ―

**Q** 台風10号が東北・北海道に甚大な被害を出したが、災害対策本部の設置基準避難勧告や避難指示の発令はどのように行われるのか。介護施設や老人ホーム等への情報伝達や避難対策は。



豊里東部排水機場  
平成23年9月小山川増水  
(八基・豊里地区が内水により大きな被害を受けた)

## Q 市内小中学校の水道料金に大きな差があったが対応は

### A 引き続き原因の調査及び分析を行ない、対応していく

清水 健一

**Q** 2年前に指摘をし、ほとんどの学校で改善が見られるが、深谷西小は、対前年で約84万円も増えている。水量換算で約434万リットルにもおよびが調査をしているのか。

**A** 今年度、専門家による漏水調査を実施し、修繕が必要な4校の工事を行なった。

**Q** 先例市では、水光熱費を削減した学校に対して、削減額の半分を教育費として再分配し、環境教育にも役立てているが、見解は。

**A** 現在の予算配分方式や水道料の支払い方法の関係で実施は難しい。

**Q** 各学校の水道口径にバラツキがあり、深谷西小、花園小、花園中は100mm口径が採用されており、75mmにする各校、約28万円の削減となるが、検討するべきではないか。

**A** 75mmにした場合の影響を調査し検討していく。

#### ― 環境への負荷の低減は ―

**Q** 市の環境基本条例では、全ての施策の策定及び実施に当たり、環境への配慮を優先するとあるが、どの

ような成果が出ているのか。

**A** 施設照明のLED化や様々な施策を展開しているが、特に市内全域の10KW以上の太陽光発電設備の導入容量は県内1位となっている。

**Q** 昨年度に比べ、約9580万円も伸びているが、要因を聞きたい。

**A** 基金の債券運用収入が大幅に伸びたのが要因である。



市内小学校 外水道